

令和6年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験要項

名古屋市教育委員会

申込受付期間 令和6年4月19日(金)から令和6年5月8日(水)まで

※この期間中の申込完了分有効(インターネット申込)

※インターネット申込の方法はp.7をご覧ください。

※インターネット申込ができない方はp.8をご覧ください。

1 次 試 験 令和6年6月15日(土)

2 次 試 験 令和6年7月20日(土)・21日(日)

※ 名古屋市では、障害のある方の教員採用に積極的に取り組んでいます。

「障害者特別選考試験」は別要項により実施します。詳しくはp.15~17をご覧ください。

※ 「大学3年生等を対象とした選考試験」は別要項により実施します。

詳しくはp.18~20をご覧ください。

※ 「大学3年生等を対象とした障害者特別選考試験」は別要項により実施します。

詳しくはp.21~23をご覧ください。

※ 試験日程や会場については志願者数などの関係により一部変更する場合があります。

1 趣 旨

この選考試験は、令和7年度の名古屋市公立学校教員の採用に当たり、専門的な知識と幅広い教養を有し、教育に対する情熱と使命感をもち、健康な体と豊かな人間性を備えた知・徳・体のバランスのとれた人材を選考する資料とするために実施するものです。

2 基礎資格

以下のすべてに該当する人に限ります。

(1) 地方公務員法第16条各号および学校教育法第9条各号に該当しないこと。

(2) 選考区分に応ずる教諭普通免許状を所有または令和7年3月31日までに取得見込の人。

なお、特別支援学校教員については、養護学校教諭か特別支援学校教諭の免許状を所有または令和7年3月31日までに取得見込の人で、かつ特別支援学校の小学部・中学部・高等部に相当する学校の教諭普通免許状を所有または令和7年3月31日までに取得見込の人。

(3) 50歳未満(昭和50年4月2日以降に生まれた人)。

※ 特例B-1①~⑤、D-1、D-2(p.3・5参照)に該当する人は60歳未満(昭和40年4月2日以降に生まれた人)。

3 選 考

(1) 選考区分・採用予定人員(P.26参照)

(2) 選考方法

選考区分	選 考 方 法	
	1 次 試 験	2 次 試 験
① 高等学校教員	共通 ○専門「教科」	共通 ○実技 音楽、保健体育、家庭、英語
② 中学校教員	○小論文 ○総合教養 ○専門「教科」	○口述(集団面接) (個人面接) ○実技 音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
③ 小学校教員	○専門「小学校全科」	
④ 幼稚園教員	○専門「幼稚園教育」	○幼稚園実技
⑤ 特別支援学校教員	○専門「特別支援教育」	
⑥ 養護教員	○専門「養護」	○養護に関する実技
⑦ 栄養教員	○専門「栄養」	

4 試験の特例について

- 下の特例に該当し、書類審査のうえ認められた人は、試験の一部に特例が適用されます。
- それぞれの特例について要件を満たしていれば、複数の特例を申請することが可能です。
- 特例の申請については、**インターネットでの申込後、各特例の〈必要書類〉を郵送にて、名古屋市教育委員会教職員課へ提出してください。**(特例の申請はインターネット申込だけではできません。特例申請書類提出期限は5月8日(水)です。詳しくは、p.7をご覧ください。)
- 特例A実績証明書①、特例A実績証明書②、特例B実績証明書は、名古屋市公式ウェブサイト(「教員等採用情報」のページ)から印刷(A4判縦)してください。
- 「試験の特例」の可否については、書類審査のうえ6月3日(月)以降の受験票交付時にお知らせします。

特例A-1 <対象> 高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校・養護・栄養教員の各志願者

- <要件> ア、イのいずれかの要件に該当する人
 ア スポーツの分野において、次のいずれかに該当する人(小・中学校での実績は除く)
- ・ 国際規模の競技会などに日本代表として出場した人(オリンピック大会、アジア大会、世界選手権大会等、競技的内容をもつ世界レベルのスポーツ大会に日本代表として出場した人)
 - ・ 文部科学省、(財)日本スポーツ協会またはその加盟団体の主催する全国規模の大会において登録選手として出場し、団体競技3位以内、個人競技8位以内の優秀な成績を収めた人
- イ 芸術等の分野において、国際レベルのコンクール・展覧会等で優秀な成績を収めた人、または、全国レベルのコンクール・展覧会等で極めて優秀な成績を収めた人(小・中学校での実績は除く)
- <特例内容> ○ 1次試験の「専門」の免除
 ※ 希望する選考区分の校種、教科との関連性を検討して審査をします。
- <必要書類> ○ 「特例A実績証明書①」および「実績等を証明するもののコピー」
 ※ 実績の中で最も上位と自分が判断したものを貼付してください。団体の場合は、その団体に所属していることが確認できる資料も必ず貼付してください。

特例A-2 <対象> 小学校教員の志願者

- <要件> ○ 英会話能力に優れ、英語免許を所有(または令和7年3月31日までに取得見込み)、もしくは以下のいずれかに該当する人
- | ケンブリッジ
英語検定 | 実用英語
技能検定 | GTEC | IELTS | TEAP | TEAP
CBT | TOEFL
iBT | TOEIC
L&R/S&W |
|----------------|--------------|-------|-------|-------|-------------|--------------|------------------|
| 140以上 | 2級以上 | 960以上 | 4.0以上 | 225以上 | 420以上 | 42以上 | 1150以上 |
- ※ TOEIC L&R/TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。
- <特例内容> ○ 1次試験の専門「小学校全科」の成績に加点
 ◆ 併願する場合、その選考区分の「専門」の成績には加点しません。
- <必要書類> ○ 「特例A実績証明書②」および「実績等を証明するもののコピー」

特例A-3 <対象> 高等学校(英語)・中学校(英語)・小学校・特別支援学校教員の各志願者

- <要件> ○ 英会話能力に優れ、以下のいずれかに該当する人
- | ケンブリッジ
英語検定 | 実用英語
技能検定 | GTEC | IELTS | TEAP | TEAP
CBT | TOEFL
iBT | TOEIC
L&R/S&W |
|----------------|--------------|--------|-------|-------|-------------|--------------|------------------|
| 180以上 | 1級以上 | 1350以上 | 7.0以上 | 375以上 | 800 | 95以上 | 1845以上 |
- ※ TOEIC L&R/TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。
- <特例内容> ○ 1次試験の「専門」の免除
 ※ 教科「英語」の希望者は、1次試験の「専門」に加えて、2次試験の実技「英語」も免除します。
 ◆ 高等学校(英語)・中学校(英語)・小学校・特別支援学校以外の選考区分と併願する場合、対象としない選考区分の1次試験の「専門」・「実技」は免除されません。
- <必要書類> ○ 「特例A実績証明書②」および「実績等を証明するもののコピー」

特例A-4 <対象> 高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校教員の各志願者

- <要件> ○ 以下のいずれかの認定証等を特例A実績証明書②の提出日までに取得している人
 ※ ただし、③を申請する場合は中学校(技術)を第1希望として志願する人に限る。(併願可)
- ① ICT支援員能力検定
 - ② 教育情報化コーディネータ認定(1~3級)
 - ③ 中学校教諭普通免許状(技術)
- ※ ③は、令和7年3月31日までに取得見込でも可
- <特例内容> ○ 1次試験の「総合教養」の成績に加点
- <必要書類> ○ 「特例A実績証明書②」および「実績等を証明するもののコピー」

※ 「特例A実績証明書①」「特例A実績証明書②」は、各欄を記入し、裏面に実績や資格等を証明するもののコピーを貼付して、提出してください。

常勤講師として任用された人を対象とした特例

特例B-1① <対象> 高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校・養護・栄養教員の各志願者

<要件> ○ 名古屋市公立学校(園)に常勤講師として任用され、令和元年度から令和6年度(令和6年5月31日まで)において、任用期間が通算3年(36か月)以上ある人

<特例内容> ○ 1次試験の「総合教養」・「専門」の免除

<必要書類> ○ 「特例B実績証明書」

※ 所属長の証明が必要

※ 任用期間がその月に1日でもあれば、1か月分と算定し、12か月分で1年とします。

※ 特例B-1①が認められた人は、60歳未満(昭和40年4月2日以降に生まれた人)まで受験が可能です。

特例B-1② <対象> 高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校・養護・栄養教員の各志願者

<要件> ○ 名古屋市公立学校(園)に常勤講師として任用され、令和元年度から令和6年度(令和6年5月31日まで)において、任用期間が通算2年(24か月)以上ある人

<特例内容> ○ 1次試験の「総合教養」の免除・「専門」の成績に加点

<必要書類> ○ 「特例B実績証明書」

※ 所属長の証明が必要

※ 任用期間がその月に1日でもあれば、1か月分と算定し、12か月分で1年とします。

※ 特例B-1②が認められた人は、60歳未満(昭和40年4月2日以降に生まれた人)まで受験が可能です。

特例B-1③ <対象> 高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校・養護・栄養教員の各志願者

<要件> ○ 名古屋市公立学校(園)に常勤講師として任用され、令和元年度から令和6年度(令和6年5月31日まで)において、任用期間が通算1年(12か月)以上ある人

<特例内容> ○ 1次試験の「総合教養」・「専門」の成績に加点

<必要書類> ○ 「特例B実績証明書」

※ 所属長の証明が必要

※ 任用期間がその月に1日でもあれば、1か月分と算定し、12か月分で1年とします。

※ 特例B-1③が認められた人は、60歳未満(昭和40年4月2日以降に生まれた人)まで受験が可能です。

※ 「特例B実績証明書」は、各欄を記入し、提出してください。

非常勤講師として任用された人を対象とした特例

特例B-1④ <対象> 高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校・養護・栄養教員の各志願者

<要件> ○ 名古屋市公立学校(園)に非常勤講師として任用され、令和元年度から令和6年度(令和6年5月31日まで)において、任用期間が通算2年(24か月)以上ある人

<特例内容> ○ 1次試験の「総合教養」の免除

<必要書類> ○ 「特例B実績証明書」

※ 所属長の証明が必要

※ 任用期間がその月に1日でもあれば、1か月分と算定し、12か月分で1年とします。

※ 特例B-1④が認められた人は、60歳未満(昭和40年4月2日以降に生まれた人)まで受験が可能です。

特例B-1⑤ <対象> 高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校・養護・栄養教員の各志願者

<要件> ○ 名古屋市公立学校(園)に非常勤講師として任用され、令和元年度から令和6年度(令和6年5月31日まで)において、任用期間が通算1年(12か月)以上ある人

<特例内容> ○ 1次試験の「総合教養」の成績に加点

<必要書類> ○ 「特例B実績証明書」

※ 所属長の証明が必要

※ 任用期間がその月に1日でもあれば、1か月分と算定し、12か月分で1年とします。

※ 特例B-1⑤が認められた人は、60歳未満(昭和40年4月2日以降に生まれた人)まで受験が可能です。

※ 「特例B実績証明書」は、各欄を記入し、提出してください。

※ 特例B-1を申請する場合は、①～⑤の中から1つしか申請できません。

※ 令和元年度から令和6年度(令和6年5月31日まで)において、常勤講師として任用された期間が12か月未満の場合、その期間を非常勤講師として任用された期間とみなして、非常勤講師の任用期間と合算することができます。

特例B-2 <対象> 中学校・小学校・特別支援学校・養護教員の各志願者

- <要件> ○ 現在、名古屋市以外の国公立学校に本務教諭として勤務しており、令和6年5月8日までに本務教諭の任用期間が通算2年以上ある人
※ 本務教諭とは、採用試験を経て採用された正規教員を指します。
- <特例内容> ○ 1次試験の「総合教養」・「専門」の免除
- <必要書類> ○ 「特例B実績証明書」
※ 所属長の証明が必要
○ 学校保管の履歴書の写（コピーしたもの。在職証明や勤務記録カードなども可）

※ 中学校・小学校の受験者が、B-2を申請する場合は、高等学校・幼稚園を併願できません。

※ 「特例B実績証明書」は、各欄を記入し、提出してください。

特例B-3 <対象> 高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校・養護・栄養教員の各志願者

- <要件> ○ なごや教職インターンシップの活動が、平成30年度から令和5年度の間において、1年間に30回以上、または2年間に50回以上ある人
※ ただし、令和2年度を活動期間に含める場合は、1年間に20回以上、または2年間に40回以上ある人。
- <特例内容> ○ 1次試験の「総合教養」・「小論文」の成績に加点
- <必要書類> ○ 「特例B実績証明書」および「なごや教職インターンシップ活動記録票」
※ 「特例B実績証明書」の裏面に、所属長の証明がある「なごや教職インターンシップ活動記録票」の原本を貼付してください。
※ 特例B-3の申請は1度しかできません。
※ 特例B-3の申請の有効期間は、大学・大学院の卒業・修了年度の翌年度までとします。

※ 「特例B実績証明書」は、各欄を記入し、提出してください。

特例B-4 <対象> 中学校・小学校・特別支援学校・養護教員の各志願者

- <要件> 名古屋市において、令和元年度から令和6年度（令和6年5月31日まで）に、下の活動（任用）期間が通算1年（12か月）以上ある人
- トワイライトスクール・トワイライトルームにおいて、運営指導者、子ども指導員、地域協力員（「AP」）、体験活動講師、学生ボランティアの活動をしている人
 - 部活動外部指導者（部活動外部顧問を含む）、「名古屋市立小学校における新たな運動・文化活動」指導者、スクール・サポート・スタッフ、名古屋市児童相談所「あそびっこ」、母語学習協力員、名古屋市民おんたけ休暇村キャンプカウンセラー、フレンドリーユース、学習支援事業学習サポーター、児童養護施設学習支援ボランティア、土曜学習いきいきサポーター、発達障害対応支援員、子ども会ボランティアサークル
- <特例内容> ○ 1次試験の「総合教養」の成績に加点
- <必要書類> ○ 「特例B実績証明書」
※ 所属長・所属団体の証明が必要
※ 活動（任用）期間がその月に1日でもあれば、1か月分と算定し、12か月分で1年とします。
※ 土曜学習いきいきサポーターは、活動回数が12回以上必要です。ただし、令和2年度、令和3年度に活動を予定していた人は、活動回数を8回以上とします。

※ 中学校・小学校の受験者が、B-4を申請する場合は、高等学校・幼稚園を併願できません。

※ 「特例B-4」はそれぞれの活動（任用）期間を合算することができます。（重なっている期間の合算はできません。）

※ 「特例B実績証明書」は、各欄を記入し、提出してください。

特例 C <対象> 中学校・小学校教員の各志願者

- <要件> ○ 大学院での修学を理由に、「令和4年度実施」または「令和5年度実施」の「名古屋市公立学校教員採用選考試験」において、中学校教員または小学校教員の区分での「合格」を辞退し、次の要件をすべて満たす人
- ・ 令和7年3月31日までに大学院修士課程を修了見込であること
 - ・ 令和7年3月31日までに「令和4年度実施」または「令和5年度実施」の「名古屋市公立学校教員採用選考試験」で「合格」した選考区分・教科の専修免許状を取得もしくは取得見込であること
 - ・ 「令和4年度実施」または「令和5年度実施」の「名古屋市公立学校教員採用選考試験」で「合格」した選考区分・教科に出願すること
- <特例内容> ○ 2次試験の口述（個人面接）のみで選考試験を実施
- <必要書類> ○ 大学院修了（見込）証明書
- 対象者に送付した「大学院在学者及び進学者への特別措置決定通知書」

- ※ 特例Cの適用を希望する人は、「大学院修了（見込）証明書」と「大学院在学者及び進学者への特別措置決定通知書」の左下欄外にインターネット申込の際の申請番号を記入し、提出してください。
- ※ 「合格」した選考区分・教科の募集がない場合は、特例Cは無効となります。
- ※ 大学院在学及び進学者への特別措置を希望し、「合格」を辞退した場合、その後の進学状況等に変更が生じていても、「合格」の辞退を取り消すことはできません。

特例 D-1 <対象> 高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校・養護・栄養教員の各志願者

- <要件> ○ 名古屋市公立学校（園）に、本務教諭として勤務し、平成30年3月31日以降に、介護を理由に退職した人
- ・ 退職時と同一校種、同一教科での出願に限る
 - ・ 出願時に、退職日から6年以内の人
- ※ 本務教諭とは、採用試験を経て採用された正規教員を指します。
- <特例内容> ○ 2次試験の口述（個人面接・集団面接）のみで選考試験を実施
- <必要書類> ○ 「介護理由退職者証明書」
- ※ 特例D-1が認められた人は、60歳未満（昭和40年4月2日以降に生まれた人）まで受験可能です。

- ※ 特例D-1の適用を希望する人は、「介護理由退職者証明書」の左下欄外にインターネット申込の際の申請番号を記入し、提出してください。
- ※ 募集のない区分の出願はできません。

特例 D-2 <対象> 高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校・養護・栄養教員の各志願者

- <要件> ○ 名古屋市公立学校（園）に、本務教諭として勤務し、令和3年3月31日以降に、子育てを理由に退職した人
- ・ 退職時と同一校種、同一教科での出願に限る
 - ・ 出願時に、退職日から6年以内の人
- ※ 本務教諭とは、採用試験を経て採用された正規教員を指します。
- <特例内容> ○ 2次試験の口述（個人面接・集団面接）のみで選考試験を実施
- <必要書類> ○ 「子育て理由退職者証明書」
- ※ 特例D-2が認められた人は、60歳未満（昭和40年4月2日以降に生まれた人）まで受験可能です。

- ※ 特例D-2の適用を希望する人は、「子育て理由退職者証明書」の左下欄外にインターネット申込の際の申請番号を記入し、提出してください。
- ※ 募集のない区分の出願はできません。

特例 E <対象> 中学校・小学校教員志願者で特別支援学級担当の希望がある志願者

- <要件> ○ 特別支援教育に関わる以下のいずれかの免許状を取得または令和7年3月31日までに取得見込の人
- ・ 特別支援学校教諭免許の「視覚障害者」「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」のうち、1領域以上が記された普通免許状
 - ・ 盲学校教諭免許状
 - ・ 聾学校教諭免許状
 - ・ 養護学校教諭免許状
- <特例内容> ○ 1次試験の「総合教養」の成績に加点
- <必要書類> ○ 該当する免許状の写しまたは免許状取得見込証明書

※ 特例Eの適用を希望する人は、「該当する免許状の写し」または「免許状取得見込証明書」の左下欄外にインターネット申込の際の申請番号を記入し、提出してください。

※ 小学校・中学校の受験者が、特例Eを申請する場合は、高等学校・幼稚園を併願できません。

特例 F <対象> 中学校（技術）・高等学校（工業）・特別支援学校教員の各志願者

- <要件> ○ 在学する大学の学長、または学部長の推薦が得られた人
- 名古屋市の教員として勤務することを第一志望とし、選考試験実施の翌年度の採用を希望する人
 - 受験区分・教科に対応する教員免許状取得のための課程許可を受けている大学（短期大学、大学院、教職大学院を含む）に出願時に在籍し、令和7年3月31日までに卒業（修了）見込みである人
- <特例内容> ○ 1次試験の「総合教養」・「専門」の免除
- <必要書類> ○ 推薦書（大学が作成し、送付すること）

※ 詳細は、各大学のご担当者に確認してください。

※ 大学からの提出書類のほか、受験者本人のインターネットによる申込みが必要となります。

※ 特例Fを申請する場合は、他の選考区分を併願できません。

特例 G <対象> 高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校・養護・栄養教員の各志願者

- <要件> ○ 令和5年度実施名古屋公立学校教員採用選考試験の2次試験受験対象となった人
- 令和5年度実施名古屋公立学校教員採用選考試験の2次試験受験対象となった選考区分・教科に出願すること
- <特例内容> ○ 1次試験の免除
- ※ 令和5年度に2次試験の実技「英語」の免除を認められた人は、令和6年度も同様に免除とする。
 - ※ 教科「音楽」・「美術」・「技術」・「家庭」の希望者は、1次試験に加えて、2次試験の実技も免除します。

※ この特例の適用は、令和6年度実施の採用選考試験の1回限りとします。

※ インターネットで申込みをする際、令和5年度実施の採用選考試験の選考番号の入力が必要です。

※ 令和5年度実施の採用選考試験の2次試験受験対象となった選考区分・教科において、令和6年度に採用予定がない場合は、特例Gは申請できません。

5 申込手続

※ 申込は、インターネットで行ってください。
(事情によりインターネット申込ができない方は、p. 8を参照)

利用環境

インターネットに接続できるパソコンと電子メールアドレスのほか、受験票を印刷するためにプリンターとAdobe Readerが必要となります。

- Adobe Readerは以下のページから無料でダウンロードすることができます。
<http://get.adobe.com/jp/reader/>
- 受験票の印刷は、A4判の普通紙で行ってください。
- 使用されるパソコンの機種や環境等により利用できない場合があります。

(1) 受付期間 **令和6年4月19日(金)～令和6年5月8日(水)までに申込が完了したもののみを有効とします。**

- 必ず期間内に申込を完了させてください。(申込が完了すると、それをお知らせする電子メールがすぐに届きます)
- システム管理等のため、システムの運用を予告なく停止、休止等する場合がありますのでご了承ください。
- 使用されるパソコンや通信回線上の障害等によるトラブルについては一切責任を負いかねますので、期限に余裕をもって申し込んでください。

(2) アクセス及び申込方法



- 左の二次元コードを読み取るか、名古屋市電子申請サービス (<https://ttzk.graffer.jp/city-nagoya>) にアクセスし、キーワード検索で「教員採用」と検索してください。
- 「**令和6年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験申込**」をクリックし、順次画面の指示に従ってください。
詳しくは、名古屋市電子申請サービスの画面や電子メールの指示に従ってください。
- ご自身が登録したメールアドレスとパスワードは、申込の際や受験票を交付するときに必要となりますので、必ず書き留めておいてください。
- 送付された電子メール等は印刷する等、確実に保存してください。

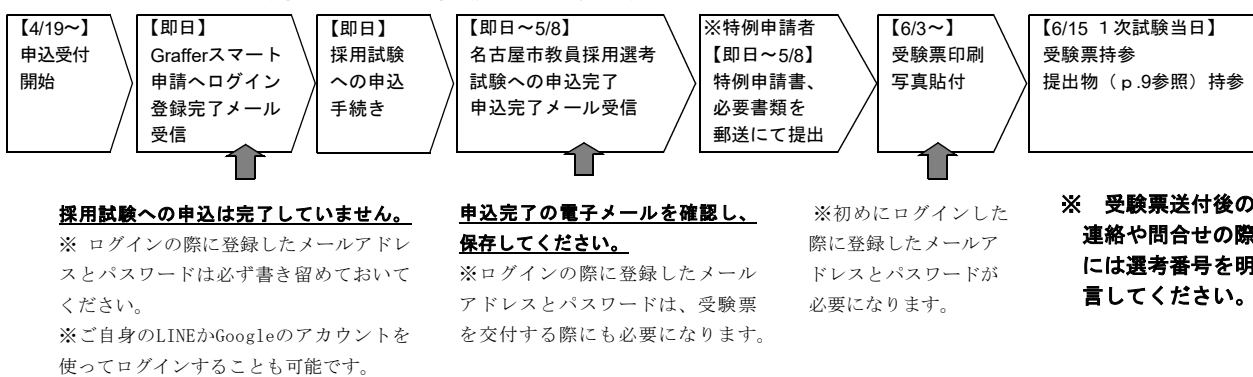
※特例の申請方法… インターネット申込後、必要書類に「申請番号」と必要事項を記入し、名古屋市教育委員会教職員課まで 郵送にて 提出してください。
郵送の際は、角形2号封筒(332×240mm)の表に、「特例申請書類在中」と朱記し、必ず「簡易書留」を利用してください。書類は折り曲げないでください。申請する特例一つにつき、実績証明書を一枚ずつ提出してください。

特例申請書類提出期限：5月8日(水)の消印があるものまで有効

(3) 受験票の交付

- ① **6月3日(月)以降**に送付される電子メールを確認し、電子メールの記載内容に従って「メールアドレス」と「パスワード」を入力し、受験票及び特例結果通知書(特例結果通知書は、特例を申請した方のみ)を印刷(A4判横)してください。
- ② **6月7日(金)までに電子メールが届かない場合は、名古屋市公式ウェブサイト(「教員等採用情報」のページ)に掲載している「電子申請についてのQ&A」Q9の手順に従ってください。**
- ③ **受験票は、必ず写真を貼付し、選考番号、受験会場等を確認したうえで、大切に保管し、試験当日(1次試験、2次試験)に持参してください。(写真がないと受験できません。)**

◎フローチャート(申込から1次試験までの流れ)



※アカウントを使ってログインする方法以外に、「メール認証して申請」することも可能です。その場合、パスワードは必要ありません。

※ インターネット申込ができない方

事情によりインターネット申込ができない場合は、郵送または持参による申込となります。この場合には、あらかじめ、紙の「申込書」が必要となります。以下の「請求手続き」に従って請求してください。（名古屋市教育委員会教職員課まで直接お越しいただいても構いません）

郵送による請求手続き

返信用封筒（角形2号封筒332×240mm）に140円分の郵便切手を貼り、受験者の宛先と郵便番号を明記してください。請求用封筒の表に「申込書希望」と朱記し、返信用封筒を同封して郵送にて請求してください。

請求期間 4月2日（火）～4月12日（金）の消印有効

※ 受付期間に間に合うように請求してください。

申込受付期間 4月19日（金）～5月8日（水）の消印有効

申込受付時間 午前9時～午後5時まで（土曜日・日曜日・祝日を除く）

【申込書請求先及び申込書提出先】

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1-1 名古屋市教育委員会教職員課 教員採用担当

※ 郵送で申し込んだ場合、受験票の交付も郵送となります。詳しい案内は申込書に同封します。

6 1次試験の期日、会場及び内容

- (1) 期 日 令和6年6月15日（土）
 (2) 会 場 中京大学名古屋キャンパス（名古屋市昭和区八事本町101-2）
 (3) 試験日程・内容

	内 容	対 象
8：20～9：00	受 付	全 員
9：05～9：25	受験上の注意、書類提出	全 員
9：40～10：30	小 論 文	全 員
10：50～11：30	総 合 教 養	全 員
11：50～12：50	専門「小学校全科」	小 学 校
	専 門 「 教 科 」	高等学校（地理・歴史、商業、工業）、 特別支援学校、養護教員、栄養教員
12：50～13：40	昼 食	
13：40～14：40	専 門 「 教 科 」	幼稚園、中学校、 高等学校（地理・歴史、商業、工業を除く）

※ 中学校、高等学校の同一教科の専門「教科」は共通です。

※ 会場・試験日程を変更することがあります。

※ 上着やネクタイの着用の必要はありません。

- (4) 1次試験日（6月15日）に提出するもの（詳しくはp.12～14の「教員採用選考試験Q&A」をご覧ください。）
- ① 自己アピールシート — 名古屋市公式ウェブサイト（「教員等採用情報」のページ）から印刷（A4判縦：両面印刷）してください。選考番号、氏名など必要事項を記入のうえ、受験票に貼付する写真と同じ写真を貼付してください。

※ 現在、国公立学校に、本務教諭として勤務中の人は、学校保管の履歴書の写（コピーしたもの。在職証明書や勤務記録カードなども可。）に所属長の原本証明をしたものを自己アピールシートと一緒に提出してください。※特例B2の申請時に提出している人は、提出する必要はありません。

- ② 免許状証明書 } } のいずれか。
- 原本の写（白黒コピーしたもの※カラーコピー不可）
 - 授与証明書（免許状を発行した教育委員会の証明書）
 - 取得見込証明書（大学が発行するもの）

※ 免許状の有効期間の延長をした人は「免許状の修了確認期限」を証明するものの写（コピーしたもの）を添付してください。

- ③ 大学及び大学院の卒業・修了（見込）証明書 — 二つ以上の大学、または学部にあたる場合や、大学卒業後、大学院や通信制大学に進学された人は、それぞれの卒業・修了（見込）証明書が必要です。

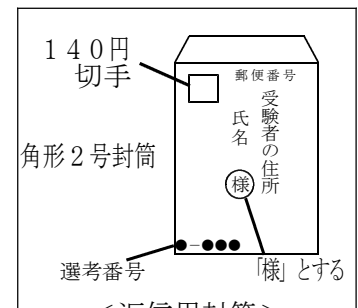
- ④ 返信用封筒 — 宛先・郵便番号・氏名・選考番号を明記し、140円の郵便切手を貼った角形2号封筒（332×240mm）

※ 宛先はインターネット申込で入力した住所と同じにしてください。（住所変更した場合は、教育委員会に届け出た住所）

※ 選考にあたって提出した書類は一切返却しません。また、選考以外の目的で使用しません。

※ 改姓の場合や勤務先、住所、電話番号など記載事項に変更が生じたときは、必ず文書ですみやかに教育委員会に届け出てください。

※ 「特例C」「特例D-1」「特例D-2」「特例G」が認められた人は、上の①②③④の書類を6月11日（火）までに名古屋市教育委員会教職員課教員採用担当まで簡易書留で郵送してください。



< 返信用封筒 >

(5) 1次試験の選考結果通知について

受験者全員に令和6年7月中旬に通知（郵送）します。なお、名古屋市公式ウェブサイト（「教員等採用情報」のページ）でも発表します。

(6) その他

試験会場で携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、コンピュータ、タブレット端末等の通信機能を有する電子機器を使用することは認めません。

7 2次試験について

2次試験受験者となった人を対象に実施します。

期 日	内 容	対 象 区 分
7月20日（土）	口述(集団・個人面接)	全 選 考 区 分
	「音楽実技」	中学校・高等学校教員（音楽）
	「美術実技」	中学校教員（美術）
	「保健体育実技」	中学校・高等学校教員（保健体育）
7月21日（日）	「技術実技」	中学校教員（技術）
	「家庭実技」	中学校・高等学校教員（家庭）
	「英語実技」	中学校・高等学校教員（英語）
	「幼稚園実技」	幼稚園教員
	「養護に関する実技」	養護教員

8 選考結果通知等

(1) 最終選考方法と選考結果の通知について

1次試験および2次試験の結果ならびに提出書類を総合して最終選考をします。最終的な合格・補欠・不合格の決定を、2次試験受験者にのみ、令和6年8月下旬に通知（郵送）します。なお、名古屋市公式ウェブサイト（「教員等採用情報」のページ）でも発表します。

- ・ 合格…令和7年4月1日付で採用します。
- ・ 補欠…令和7年12月末日までの間で、欠員状況等に応じ、採用されることがあります。
- ・ 不合格…1次、2次試験結果の総合判定により不合格となった人で、採用されません。

※ 特例Gについては、令和5年度実施の1次試験と令和6年度実施の2次試験の結果ならびに提出書類を総合して最終選考をします。

(2) 大学院在学者および進学者への特別措置

「令和6年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験」において小学校教員または中学校教員の区分で合格した人の中で、令和7年度に大学院（教職大学院を含む。以下同じ）に進学または在学を理由として採用を辞退した人が、次のア～ウの要件をすべて満たした上で、下に示す「名古屋市公立学校教員採用選考試験」に、令和6年度と同一の選考区分・教科で出願した場合は、2次試験の口述（個人面接）のみで選考試験を実施します。

ア 大学院での修学を理由に、令和6年12月20日（金）までに名古屋市教育委員会に申し出た上で「令和6年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験」の合格を辞退すること。

イ 令和7年度に大学院で修学すること。

ウ 下に示す期限までに、大学院修士課程を修了見込みであり、かつ「令和6年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験」で合格した区分・教科の専修免許状を取得もしくは取得見込であること。

- ① 大学院在学者 …… 令和8年3月31日まで
- ② 大学院進学者 …… 令和9年3月31日まで

【特例が適用される「名古屋市公立学校教員採用選考試験」】

- ① 大学院在学者 …… 「令和7年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験」
- ② 大学院進学者 …… 「令和8年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験」

(3) 選考結果の情報提供について

1次試験および最終選考で不合格となった人全員に、次の選考結果情報を提供します。

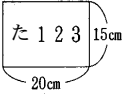
- ・ 1次試験不合格者には「内容別評定」「総合教養試験の得点」「専門試験の得点」
- ・ 最終選考不合格者には1次試験の「内容別評定」「総合教養試験の得点」「専門試験の得点」および2次試験の「内容別評定」

(4) その他

- ・ 校種ごとの教員必要数の関係から、他の校種に採用されることもあります。
- ・ 令和7年3月31日までに大学（もしくは短期大学）を卒業できない場合、該当する教員免許状を取得できない場合、合格種免許状の期限が切れている場合等、令和7年度採用対象者は採用時に勤務できない事態が生じた場合には、合格は取り消しとなります。
- ・ 選考結果の通知前の問合せには、応じられません。

9 実技試験

● 2次試験

<p>○中学校・高等学校の音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ演奏 ・歌唱 	<p>課題曲は、モーツァルトのソナタ「K. 283 第1楽章」または、ベートーヴェンのソナタ「Op. 49. No2 第1楽章」で、いずれか1曲を自ら選択して演奏します。自由曲は随意の1曲です。課題曲・自由曲の楽譜は各自持参してください。 次の中学校教材の中からいずれか1曲を自ら選んで伴奏しながら視唱します。楽譜は各自持参してください。 「赤とんぼ」「夏の思い出」「浜辺の歌」「帰れソレントへ」 ※「帰れソレントへ」は原語または日本語とします。</p>
<p>○中学校の美術</p>	<p>水彩絵の具（アクリル絵の具も可）、筆（大・中・小）、パレット、鉛筆（数本）、消しゴム、筆洗、筆をぬぐう布・雑巾、のりを各自持参してください。</p>
<p>○中学校・高等学校の保健体育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハードル走 ・マット運動 ・バスケットボール ・なわ跳び運動 	<p>受験に適したゼッケンをつけた服装、シューズ（ひも付きの屋内用）、健康保険証を各自持参してください。（素足での実技は厳禁）</p> <p>【ゼッケンについて】 ゼッケンは右図のように、各自が用意した白布に選考番号を黒色で明記し、胸と背に縫いつけてください。</p> <div style="text-align: right;">  </div>
<p>○中学校の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木工 	<p>木材の加工をします。さしがね、両刃のこぎり、平かんな、両口げんのうを各自持参してください。また、実技に適した服装・履き物を各自持参してください。</p>
<p>○中学校・高等学校の家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣生活 	<p>縫い針、まち針、指ぬき（必要な人）、針山、糸切りばさみ、裁ちばさみ、ものさし、または方眼定規、チャコ（チャコペンシル、チャコペンなども可）を各自持参してください。</p>
<p>○中学校・高等学校の英語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英会話 	<p>英文を読み、それに関して英語で質疑応答します。また、教育に関する話題について英語で質疑応答します。各自持参するものは特にありません。</p>
<p>○幼稚園実技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ演奏 ・歌唱 ・表現 	<p>標準バイエルピアノ教則本の中の、「98番」・「102番」のいずれか1曲を自ら選んで演奏します。楽譜は各自持参してください。 幼児向きの曲（自由選択）を1曲と、課題曲（「ありさんのおはなし」・「め・め・め」のいずれか1曲を自ら選択）を伴奏しながら視唱します。楽譜は各自持参してください。 幼児向きの曲（自由選択）を歌いながら表現します。 屋内用シューズを各自持参してください。</p>
<p>○養護に関する実技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応急処置 ・保健指導 	<p>保健室での対応の実技と保健指導を行います。各自持参するものは特にありません。</p>

教員採用選考試験 Q & A

<インターネット申込について>

Q1 どのような手順で申込を進めるとよいですか？

A 要項 p. 7、または名古屋市公式ウェブサイト（「教員等採用情報」のページ）に手順を掲載していますので、そちらをご覧ください。（ウェブサイトに掲載している「電子申請についてのQ&A」もご参照ください。）

<申込内容について>

Q1 併願を考えているのですが、どの校種が併願できるのですか？

A 同じ時間帯の試験がなければ併願可能です。p. 24をご覧ください。ただし、併願した場合（中学校と高等学校の同一教科を併願した場合を除く）は、第2希望の専門試験や実技試験も受ける必要があります。

Q2 「免許状の修了確認期限」は、どのように確認すればよいですか？

A 平成21年4月1日以降に授与された免許状には有効期間の満了の日が明記されています。それ以前に授与された免許状をお持ちの方は、文部科学省のホームページ(<https://www.mext.go.jp>)等で確認してください。

Q3 複数の免許を異なる時期に取得しました。修了確認期限は、どの免許のものを入力すればよいですか？

A 複数の免許を異なる時期に取得した場合、修了確認期限は個々の状況によって異なります。受験者本人で、文部科学省もしくは免許状が発行された都道府県教育委員会に確認し、正確に入力してください。

Q4 免許が失効していないか心配なのですが、確認方法はありますか？

A 現在お持ちの免許の有効期限が令和4年の7月1日以降の場合は、期限がない免許に切り替わっています。それ以外の場合は、免許状が発行された都道府県教育委員会に一度お問い合わせください。

<特例申請について>

Q1 特例A-1に該当する実績がいくつもあるのですが、どれを申請すればよいですか？

A 実績の中で、自分が最も上位と判断されたもので申請してください。

Q2 特例A-1の受賞が団体のため、個人に証明するものがないときはどうすればよいですか？

A 賞状のコピーやその当時のプログラム、新聞記事などを貼付してください。ただし、必ず本人が所属していることが確認できる資料に限ります。

Q3 高等学校や幼稚園を受験する場合、特例を申請することはできますか？

A 特例A-1、A-3（高等学校（英語）のみ）、A-4と特例B-1①～⑤、B-3、特例D-1、D-2、特例F（高等学校（工業））、特例Gを申請することができます。なお、小学校・中学校の受験者が、高等学校や幼稚園を併願する場合は、特例B-2、B-4と特例Eの申請はできなくなります。

Q4 特例Bの申請にかかわって、特例B-1③と特例B-4の任用期間は合算することができますか？

A 特例B-1①～⑤と特例B-4の任用期間は合算することができません。

Q5 特例B-4の要件にあるトワイライトAPや部活動外部指導者など、複数の種別の活動を経験していますが、任用期間として合算できますか？また、それぞれの証明が必要ですか？

A 特例B-4の要件にあてはまる活動の任用期間の合算はできます。ただし、重なった期間はどちらか一方で算定します。証明は種別ごとに必要です。「特例B実績証明書」の下の表を参照してください。複数の証明が必要な場合は、申請書を複写してご使用ください。

Q6 令和5年4月25日から令和5年7月4日まで非常勤講師をしましたが、この期間の任用月数をどのように算定すればよいですか？

A 任用期間がその月に1日でもあれば、1か月分と算定します。この場合は、4か月です。

Q 7 50歳以上ですが、受験をすることはできますか？

A 受験できません。ただし、特例B-1①～⑤、特例D-1、特例D-2を申請して認められた人は、令和7年4月1日時点で、60歳未満（昭和40年4月2日以降に生まれた人）まで受験が可能です。

Q 8 特例A-2、特例A-4、特例B-1②、特例B-1③、特例B-1⑤、特例B-3、特例B-4、特例Eの特例内容が成績に加点するとありますが、加点は何点ですか？

A それぞれの科目の平均点を基にして、一定の割合分を加点します。

Q 9 特例A-2、特例A-4、特例B-3、特例B-4、特例Eのうち、複数の特例を申請して認められた場合、加点はどのようになりますか？

A それぞれの申請に対して、認められた分が加点されます。

Q 10 令和6年度に特例Gが認められて、2次試験で不合格になった場合、令和7年度も特例Gは申請できますか？

A 申請できません。令和5年度実施の選考試験で2次試験受験対象となった場合、令和6年度実施の選考試験では特例Gを申請できますが、令和7年度実施の選考試験では申請できません。

Q 11 特例Gが認められた場合も、1次試験を受験することはできますか？

A 特例Gが認められた人は、1次試験を受験することはできません。特例Gを申請して、特例が適用された人は、令和5年度実施の1次試験と令和6年度実施の2次試験の結果ならびに提出書類を総合して最終選考をします。

<採用試験・提出物について>

Q 1 特別支援学校を受験したいのですが、特別支援学校の教諭免許が必要ですか？

A 必要です。特別支援学校の小学部・中学部・高等部に相当する学校の教諭普通免許状も必要です。

Q 2 現在免許がなく、文部科学省が実施する資格認定試験を受験しますが、採用試験は受けることができますか？

A できます。ただし、免許が取得できなかった場合は、合格しても採用されません。

Q 3 通信教育により免許を取得中ですが、免許取得見込証明書が発行されません。どうしたらよいですか？

A 単位取得（見込）証明書を用意してください。それも発行されない場合は、通信教育でどの単位を取得しているか分かるもの（カリキュラム等）、もしくは在籍証明書を用意してください。

Q 4 通信教育で免許を取得しましたが、卒業証明書は発行されません。どうしたらよいですか？

A 修了証を用意してください。それも発行されない場合は、単位取得証明書を用意してください。

Q 5 障害者特別選考試験の特徴は何ですか？

A 1次試験の総合教養、2次試験の口述（集団面接）を受験する必要がありません。特例も申請できます。また、2次試験の個人面接に加え、採用した場合の配慮事項等の聞き取りを、2次試験当日に別途行います。

Q 6 申込の際などに健康診断書の提出は必要ありますか？

A 提出の必要はありません。合格者および補欠者には指定された日時・会場にて名古屋市教育委員会が実施する採用時健康診断を受けていただきます。

Q 7 職歴がたくさんあるため、自己アピールシートの学歴・職歴欄が不足する場合はどうしたらよいですか？

A 1つの枠を2つに分割して記入してください。それでも不足する場合は、自己アピールシートの裏面をコピーのうえ、足りない分の学歴・職歴を記載し、添付してください。必ず中央下に、（1/2）のように（頁/総頁）を記入してください。（のり付けは不要です。）

<大学3年生等を対象とした選考試験について>

Q1 大学3年生等でも、特例を申請することはできますか？

A 要件を満たしていれば、特例を申請することが可能です。ただし、必要書類を提出できない場合は申請できません。

Q2 令和6年度実施の選考試験で、小学校と中学校（美術）で受験をして、小学校と中学校の2次試験受験対象となりました。もし、令和7年度実施の選考試験で、高等学校の美術が採用予定の教科となった場合は、小学校と中学校（美術）の2次試験と高等学校（美術）の1次試験を受験することはできますか？

A できません。大学3年生等を対象とした選考試験は、令和6年度実施の採用選考試験で2次試験受験対象となった選考区分・教科を、令和7年度実施の採用選考試験の2次試験で受験することになります。高等学校（美術）を受験する場合には、1次試験から受け直すことになります。

Q3 令和6年度実施の選考試験で、中学校と高等学校で受験をして、中学校と高等学校の2次試験受験対象者となりました。もし、令和7年度実施の選考試験で、高等学校が採用予定の教科とならなかった場合、中学校の2次試験は受験できますか？

A できます。併願して2次試験受験対象となったもう一方の選考区分・教科は、受験することができます。ただし、新たに別の選考区分・教科を受験することはできません。令和6年度実施の採用選考試験と異なる選考区分・教科を受験する場合は、1次試験から受け直すことになります。

令和6年度実施 名古屋市公立学校教員採用 障害者特別選考試験要項

名古屋市教育委員会

申込受付期間 令和6年4月19日（金）から令和6年5月8日（水）まで
※この期間中の申込完了分有効（インターネット申込）
※インターネット申込の方法はp. 7をご覧ください。
※インターネット申込ができない方はp. 8をご覧ください。

1 次 試 験 令和6年6月15日（土）

2 次 試 験 令和6年7月20日（土）・21日（日）

※ 「大学3年生等を対象とした選考試験」は別要項により実施します。

詳しくはp. 18~20をご覧ください。

※ 「大学3年生等を対象とした障害者特別選考試験」は別要項により実施します。

詳しくはp. 21~23をご覧ください。

※ 試験日程や会場については志願者数などの関係により一部変更する場合があります。

1 趣 旨

この障害者特別選考試験は、障害者の雇用の促進等に関する法律の趣旨に基づき、障害者の方を対象として、その雇用の促進をはかることを目的として行うものです。

2 基礎資格

以下のすべてに該当する人に限ります。

- (1) 地方公務員法第16条各号および学校教育法第9条各号に該当しないこと。
- (2) 選考区分に応ずる教諭普通免許状を所有または令和7年3月31日までに取得見込の人。
なお、特別支援学校教員については、養護学校教諭か特別支援学校教諭の免許状を所有または令和7年3月31日までに取得見込の人で、かつ特別支援学校の小学部・中学部・高等部に相当する学校の教諭普通免許状を所有または令和7年3月31日までに取得見込の人。
- (3) 50歳未満（昭和50年4月2日以降に生まれた人）。
※ 特例B-1①~⑤、D-1、D-2（p. 3・5参照）に該当する人は60歳未満（昭和40年4月2日以降に生まれた人）。
- (4) 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人。

3 選 考

(1) 選考区分・採用予定人員

選 考 区 分		採用予定人員
① 高等学校教員	国語、地理・歴史、数学、理科、音楽、保健体育、家庭、英語、 商業、工業（機械系・情報系） その他欠員が生じた教科	約10名
② 中学校教員	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	
③ 小学校教員		
④ 幼稚園教員		
⑤ 特別支援学校教員		
⑥ 養護教員		
⑦ 栄養教員		

- 採用予定人員は、現時点での目安であり、今後検討の結果変わることがあります。
- 所有免許状（取得見込を含む）に応じ、選考区分①～④の校種のうち、2校種まで併願ができます。（同一時間帯に試験が行われるなど、組み合わせによっては併願できないこともあります。詳しくは、p. 8「6(3) 試験日程・内容」にてご確認ください。）
- 「② 中学校教員、③ 小学校教員、⑤ 特別支援学校教員」に合格した人の中から、特別支援学級担当教員に採用されることもあります。
- 高等学校教員のうち、募集がない教科（美術）において欠員が生じたときは、中学校教員に合格した人で申込時に「高等学校で欠員が生じた教科の希望」を「有」にした人の中から若干名を選考し、面接の上採用することもあります。
- 本務教諭で、本市への採用希望者は、本採用選考試験を受験してください。（試験の一部免除がありません。詳しくはp. 4「4 試験の特例について」の「特例B-2」を参照してください。）
- 日本国籍を有しない人は、任用の期限を付さない常勤講師に任用します。
- ※ 選考試験の実施にあたり、障害の種類や程度に応じた配慮をします。配慮を希望する人は、申込時に「受験に際しての配慮希望事項」に具体的な配慮事項を入力してください。

過去に実施した配慮の例

- 点字による筆記試験 ○手話による口述試験や試験監督の指示 ○試験会場や座席位置の配慮

(2) 選考方法

選 考 区 分	選 考 方 法			
	1 次 試 験		2 次 試 験	
① 高等学校教員	共通 ○小論文	○専門「教科」	共通 ○口述 (個人面接)	○実技 音楽、保健体育、 家庭、英語
② 中学校教員		○専門「教科」		○実技 音楽、美術、 保健体育、技術、 家庭、英語
③ 小学校教員		○専門「小学校全科」		
④ 幼稚園教員		○専門「幼稚園教育」		○幼稚園実技
⑤ 特別支援学校教員		○専門「特別支援教育」		
⑥ 養護教員		○専門「養護」		○養護に関する実技
⑦ 栄養教員		○専門「栄養」		

- ※ 1次試験の総合教養、2次試験の口述（集団面接）がありません。
- ※ 実技試験については、p. 11「9 実技試験」を参照

4 試験の一部免除の特例について

p. 2～6「4 試験の特例について」と同じ

5 申込手続

p. 7「5 申込手続」と同じ

- ※ 申込後に身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のコピーの提出が必要です。

6 1次試験の期日、会場及び内容

- (1) 期 日 令和6年6月15日(土)
(2) 会 場 p.8「6 1次試験の期日、会場及び内容」の(2)と同じ
(3) 試験日程・内容

	内 容	対 象
8:20～9:00	受 付	全 員
9:05～9:25	受験上の注意、書類提出	全 員
9:40～10:30	小 論 文	全 員
10:50～11:30	待 機	
11:50～12:50	専門「小学校全科」	小 学 校
	専 門 「 教 科 」	高等学校(地理・歴史・商業・工業) 特別支援学校、養護教員、栄養教員
12:50～13:40	昼 食	
13:40～14:40	専 門 「 教 科 」	幼稚園、中学校、 高等学校(地理・歴史・商業・工業を除く)

- ※ 中学校、高等学校の同一教科の専門「教科」は共通です。
- ※ 会場・試験日程を変更することがあります。
- ※ 上着やネクタイの着用の必要はありません。

- (4) 1次試験日(6月15日)に提出するもの
(5) 1次試験の選考結果通知について
(6) その他
- } p.9「6 1次試験の期日、会場および内容」の(4)(5)(6)と同じ

7 2次試験について

2次試験受験者となった人を対象に実施します。

期 日	内 容	対 象 区 分
7月20日(土)	口述(個人面接)	全 選 考 区 分
	「音楽実技」	中学校・高等学校教員(音楽)
	「美術実技」	中学校教員(美術)
	「保健体育実技」	中学校・高等学校教員(保健体育)
	「技術実技」	中学校教員(技術)
7月21日(日)	「家庭実技」	中学校・高等学校教員(家庭)
	「英語実技」	中学校・高等学校教員(英語)
	「幼稚園実技」	幼 稚 園 教 員
	「養護に関する実技」	養 護 教 員

※ 2次試験の個人面接に加え、採用した場合の配慮事項等の聞き取りを、2次試験当日に別途行います。

8 選考結果通知等

p.10「8 選考結果通知等」と同じ

9 その他

- ※ 出願に際しては、p.12～14「教員採用選考試験Q&A」を参考にしてください。
- ※ 採用された場合、公共交通機関による通勤が著しく困難な場合には、自家用自動車などの公共交通機関以外(各自で確保)による通勤も可能です。

令和6年度実施 名古屋市公立学校教員採用 大学3年生等を対象とした選考試験要項

名古屋市教育委員会

- 申込受付期間 令和6年4月19日（金）から令和6年5月8日（水）まで
 ※この期間中の申込完了分有効（インターネット申込）
 ※インターネット申込の方法はp.7をご覧ください。
 ※インターネット申込ができない方はp.8をご覧ください。
- 1 次 試 験 令和6年6月15日（土）

- ※ 大学3年生等とは、大学、大学院、短期大学、専門学校の最終年次の1年前の年次をいいます。いずれの学校にも所属していない科目等履修生は含みません。
 ※ 「障害者特別選考試験」は別要項により実施します。詳しくはp.15~17をご覧ください。
 ※ 「大学3年生等を対象とした障害者特別選考試験」は別要項により実施します。詳しくはp.21~23をご覧ください。
 ※ 試験日程や会場については志願者数などの関係により一部変更する場合があります。

1 趣 旨

この選考試験は、令和8年度の名古屋市公立学校教員の採用に当たり、専門的な知識と幅広い教養を有し、教育に対する情熱と使命感をもち、健康な体と豊かな人間性を備えた知・徳・体のバランスのとれた人材を選考する資料とするために実施するものです。

2 基礎資格

令和8年4月に名古屋市の教員として採用を希望する大学3年生等で、以下のすべてに該当する人に限ります。

- (1) 地方公務員法第16条各号および学校教育法第9条各号に該当しないこと。
- (2) 令和8年3月31日までに卒業・修了する見込であり、選考区分に応ずる免許状を令和8年3月31日までに取得見込または所有の人。
- (3) 選考区分に応ずる教諭普通免許状を令和8年3月31日までに取得見込または所有の人。
 なお、特別支援学校教員については、養護学校教諭か特別支援学校教諭の免許状を令和8年3月31日までに取得見込または所有の人で、かつ特別支援学校の小学部・中学部・高等部に相当する学校の教諭普通免許状を令和8年3月31日までに取得見込または所有の人。
- (4) 昭和51年4月2日以降に生まれた人（令和7年度に50歳未満）。

3 選 考

(1) 選考区分

選 考 区 分	
① 高等学校教員	国語、地理・歴史、数学、理科、音楽、保健体育、家庭、英語、 商業、工業（機械系・情報系） その他欠員が生じた教科
② 中学校教員	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
③ 小学校教員	
④ 幼稚園教員	
⑤ 特別支援学校教員	
⑥ 養護教員	
⑦ 栄養教員	

- 大学3年生等を対象とした選考試験は、1次試験のみを実施します。1次選考の結果、2次試験受験対象となった人は、令和7年度実施の採用選考試験の2次試験からの受験となります。
- 所有免許状（取得見込を含む）に応じ、選考区分①~④の校種のうち、2校種まで併願ができます。（同一時間帯に試験が行われるなど、組み合わせによっては併願できないこともあります。詳しくは、p.8「6(3) 試験日程・内容」にてご確認ください。）
- 令和6年度実施の採用選考試験で2次試験受験対象となった選考区分・教科において、令和7年度実施の採用選考試験に採用予定がない場合は、2次試験を受験できません。ただし、併願して2次試験受験対象となったもう一方の選考区分・教科は、受験することができます。

(2) 選考方法

選考区分	選考方法	
	1次試験	
① 高等学校教員	共通 ○小論文 ○総合教養	○専門「教科」
② 中学校教員		○専門「教科」
③ 小学校教員		○専門「小学校全科」
④ 幼稚園教員		○専門「幼稚園教育」
⑤ 特別支援学校教員		○専門「特別支援教育」
⑥ 養護教員		○専門「養護」
⑦ 栄養教員		○専門「栄養」

4 試験の一部免除の特例について

p. 2～6「4 試験の特例について」と同じ

※ 特例B-3を申請した場合、大学4年生もしくは、大学・大学院の卒業・修了年度の翌年度にも申請することができます。

5 申込手続

p. 7「5 申込手続」と同じ

6 1次試験の期日、会場及び内容

- (1) 期日
 (2) 会場
 (3) 試験日程・内容
- p. 8「6 1次試験の期日、会場及び内容」の(1)(2)(3)と同じ

(4) 1次試験日（6月15日）に提出するもの（詳しくはp. 12～14の「教員採用選考試験Q&A」をご覧ください。）

① 自己アピールシート — 名古屋市公式ウェブサイト（「教員等採用情報」のページ）から印刷（A4判縦：両面印刷）してください。選考番号、氏名など必要事項を記入のうえ、受験票に貼付する写真と同じ写真を貼付してください。

② 免許状証明書 } — } のいずれか。
 原本の写（白黒コピーしたもの※カラーコピー不可）
 授与証明書（免許状を発行した教育委員会の証明書）
 取得見込証明書（大学が発行するもの）

※ 免許状証明書が提出できない場合は、在学証明書を提出してください。

※ 免許状の有効期間の延長をした人は「免許状の修了確認期限」を証明するものの写（コピーしたもの）を添付してください。

③ 大学及び大学院の卒業・修了見込証明書

※ 卒業・修了見込証明書が提出できない場合は、在学証明書を提出してください。

※ 二つ以上の大学、または学部にあたる場合や、大学卒業後、大学院や通信制大学に進学された人は、それぞれの卒業・修了（見込）証明書が必要です。

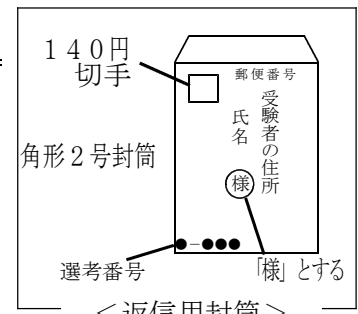
④ 返信用封筒 — 宛先・郵便番号・氏名・選考番号を明記し、140円の郵便切手を貼った角形2号封筒（332×240mm）

※ 宛先はインターネット申込で入力した住所と同じにしてください。

（住所変更した場合は、教育委員会に届け出た住所）

※ 選考にあたって提出した書類は一切返却しません。また、選考以外の目的で使用しません。

※ 改姓の場合や住所、電話番号など記載事項に変更が生じたときは、必ず文書ですみやかに教育委員会に届け出てください。



(5) 1次試験の選考結果通知について } p. 9「6 1次試験の期日、会場および内容」の(5)(6)と同じ

(6) その他

7 選考結果通知等

(1) 選考方法と選考結果の通知について

1次試験の結果および提出書類を総合して選考をします。受験者全員に令和6年7月中旬に選考結果を通知（郵送）します。なお、名古屋市公式ウェブサイト（「教員等採用情報」のページ）でも発表します。

(2) 選考結果の情報提供について

1次試験で不合格となった人全員に、次の選考結果情報を提供します。

- ・ 「内容別評定」「総合教養試験の得点」「専門試験の得点」

(3) その他

選考結果の通知前の問合せには、応じられません。

8 その他

※ 出願に際しては、p.12～14「教員採用選考試験Q & A」を参考にしてください。

※ 2次試験受験対象者については、令和7年度実施の名古屋市公立学校教員採用選考試験の1次試験を免除とし、2次試験からの受験となりますが、改めて令和7年度実施の名古屋市公立学校教員採用選考試験に同様の選考区分・教科で出願する必要があります。

令和6年度実施 名古屋市公立学校教員採用 大学3年生等を対象とした障害者特別選考試験要項

名古屋市教育委員会

申込受付期間 令和6年4月19日(金)から令和6年5月8日(水)まで

※この期間中の申込完了分有効(インターネット申込)

※インターネット申込の方法はp.7をご覧ください。

※インターネット申込ができない方はp.8をご覧ください。

1次試験 令和6年6月15日(土)

※ 大学3年生等とは、大学、大学院、短期大学、専門学校の最終年次の1年前の年次をいいます。
いずれの学校にも所属していない科目等履修生は含みません。

※ 「障害者特別選考試験」は別要項により実施します。詳しくはp.15~17をご覧ください。

※ 「大学3年生等を対象とした選考試験」は別要項により実施します。

詳しくはp.18~20をご覧ください。

※ 試験日程や会場については志願者数などの関係により一部変更する場合があります。

1 趣 旨

この大学3年生等を対象とした障害者特別選考試験は、障害者の雇用の促進等に関する法律の趣旨に基づき、障害者の方を対象として、その雇用の促進をはかることを目的として行うものです。

2 基礎資格

令和8年4月に名古屋市の教員として採用を希望する大学3年生等で、以下のすべてに該当する人に限ります。

- (1) 地方公務員法第16条各号および学校教育法第9条各号に該当しないこと。
- (2) 令和8年3月31日までに卒業・修了する見込であり、選考区分に応ずる免許状を令和8年3月31日までに取得見込または所有の人。
- (3) 選考区分に応ずる教諭普通免許状を令和8年3月31日までに取得見込または所有の人。
なお、特別支援学校教員については、養護学校教諭か特別支援学校教諭の免許状を令和8年3月31日までに取得見込または所有の人で、かつ特別支援学校の小学部・中学部・高等部に相当する学校の教諭普通免許状を令和8年3月31日までに取得見込または所有の人。
- (4) 昭和51年4月2日以降に生まれた人(令和7年度に50歳未満)。
- (5) 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人。

3 選 考

(1) 選考区分

選 考 区 分	
① 高等学校教員	国語、地理・歴史、数学、理科、音楽、保健体育、家庭、英語、 商業、工業（機械系・情報系） その他欠員が生じた教科
② 中学校教員	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
③ 小学校教員	
④ 幼稚園教員	
⑤ 特別支援学校教員	
⑥ 養護教員	
⑦ 栄養教員	

- 大学3年生等を対象とした選考試験は、1次試験のみを実施します。1次選考の結果、2次試験受験対象となった人は、令和7年度実施の採用選考試験の2次試験からの受験となります。
- 所有免許状（取得見込を含む）に応じ、選考区分①～④の校種のうち、2校種まで併願ができます。（同一時間帯に試験が行われるなど、組み合わせによっては併願できないこともあります。詳しくは、p. 8「6(3) 試験日程・内容」にてご確認ください。）
- 令和6年度実施の採用選考試験で2次試験受験対象となった選考区分・教科において、令和7年度実施の採用選考試験に採用予定がない場合は、2次試験を受験できません。ただし、併願して2次試験受験対象となったもう一方の選考区分・教科は、受験することができます。
- ※ 選考試験の実施にあたり、障害の種類や程度に応じた配慮をします。配慮を希望する人は、申込時に「受験に際しての配慮希望事項」に具体的な配慮事項を入力してください。

過去に実施した配慮の例

- 点字による筆記試験 ○手話による口述試験や試験監督の指示 ○試験会場や座席位置の配慮

(2) 選考方法

選 考 区 分	選 考 方 法	
	1 次 試 験	
① 高等学校教員	共通 ○小論文	○専門「教科」
② 中学校教員		○専門「教科」
③ 小学校教員		○専門「小学校全科」
④ 幼稚園教員		○専門「幼稚園教育」
⑤ 特別支援学校教員		○専門「特別支援教育」
⑥ 養護教員		○専門「養護」
⑦ 栄養教員		○専門「栄養」

※ 1次試験の総合教養は、ありません。

4 試験の一部免除の特例について

p. 2～6「4 試験の特例について」と同じ

※ 特例B-3を申請した場合、大学4年生もしくは、大学・大学院の卒業・修了年度の翌年度にも申請することができます。

5 申込手続

p. 7「5 申込手続」と同じ

※ 申込後に身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のコピーの提出が必要です。

6 1次試験の期日、会場及び内容

- (1) 期 日
 - (2) 会 場
 - (3) 試験日程・内容
- p. 8「6 1次試験の期日、会場及び内容」の(1)(2)(3)と同じ

- (4) 1次試験日（6月15日）に提出するもの（詳しくはp.12～14の「教員採用選考試験Q&A」をご覧ください。）
- ① 自己アピールシート — 名古屋市公式ウェブサイト（「教員等採用情報」のページ）から印刷（A4判縦：両面印刷）してください。選考番号、氏名など必要事項を記入のうえ、受験票に貼付する写真と同じ写真を貼付してください。

- ② 免許状証明書 }
 原本の写（白黒コピーしたもの※カラーコピー不可）
 授与証明書（免許状を発行した教育委員会の証明書）
 取得見込証明書（大学が発行するもの）
 のいずれか。

※ 免許状証明書が提出できない場合は、在学証明書を提出してください。

※ 免許状の有効期間の延長をした人は「免許状の修了確認期限」を証明するものの写（コピーしたもの）を添付してください。

- ③ 大学及び大学院の卒業・修了見込証明書

※ 卒業・修了見込証明書が提出できない場合は、在学証明書を提出してください。

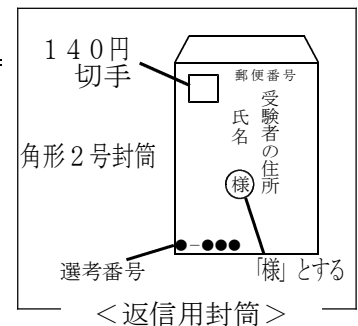
※ 二つ以上の大学、または学部にあたる場合や、大学卒業後、大学院や通信制大学に進学された人は、それぞれの卒業・修了（見込）証明書が必要です。

- ④ 返信用封筒 — 宛先・郵便番号・氏名・選考番号を明記し、140円の郵便切手を貼った角形2号封筒（332×240mm）

※ 宛先はインターネット申込で入力した住所と同じにしてください。（住所変更した場合は、教育委員会に届け出た住所）

※ 選考にあたって提出した書類は一切返却しません。また、選考以外の目的で使用しません。

※ 改姓の場合や住所、電話番号など記載事項に変更が生じたときは、必ず文書ですみやかに教育委員会に届け出てください。



- (5) 1次試験の選考結果通知について } — p.9「6 1次試験の期日、会場及び内容」の(5)(6)と同じ
- (6) その他

7 選考結果通知等

- (1) 選考方法と選考結果の通知について

1次試験の結果および提出書類を総合して選考をします。受験者全員に令和6年7月中旬に選考結果を通知（郵送）します。なお、名古屋市公式ウェブサイト（「教員等採用情報」のページ）でも発表します。

- (2) 選考結果の情報提供について

1次試験で不合格となった人全員に、次の選考結果情報を提供します。

- ・ 「内容別評定」「総合教養試験の得点」「専門試験の得点」

- (3) その他

選考結果の通知前の問合せには、応じられません。

8 その他

※ 出願に際しては、p.12～14「教員採用選考試験Q&A」を参考にしてください。

※ 2次試験受験対象者については、令和7年度実施の名古屋市公立学校教員採用選考試験の1次試験を免除とし、2次試験からの受験となりますが、改めて令和7年度実施の名古屋市公立学校教員採用選考試験に同様の選考区分・教科で出願する必要があります。

名古屋市公立学校教員採用選考試験

名古屋市公立学校教員採用 障害者特別選考試験

名古屋市公立学校教員採用 大学3年生等を対象とした選考試験

名古屋市公立学校教員採用 大学3年生等を対象とした障害者特別選考試験

応募上の参考資料

○ 併願できる組み合わせ

○：併願可能 ×：併願不可能 △：併願一部可能

第 1 希 望	第 2 希 望				
	小	中 〔国社数理音 美体技家英〕	高 〔国数理音 体家英〕	高 〔地歴商工〕	幼
小		○	○	×	○
中 〔国社数理音 美体技家英〕	○		△※	○	×
高 〔国数理音 体家英〕	○	△※		○	×
高〔地歴商工〕	×	○	○		○
幼	○	×	×	○	

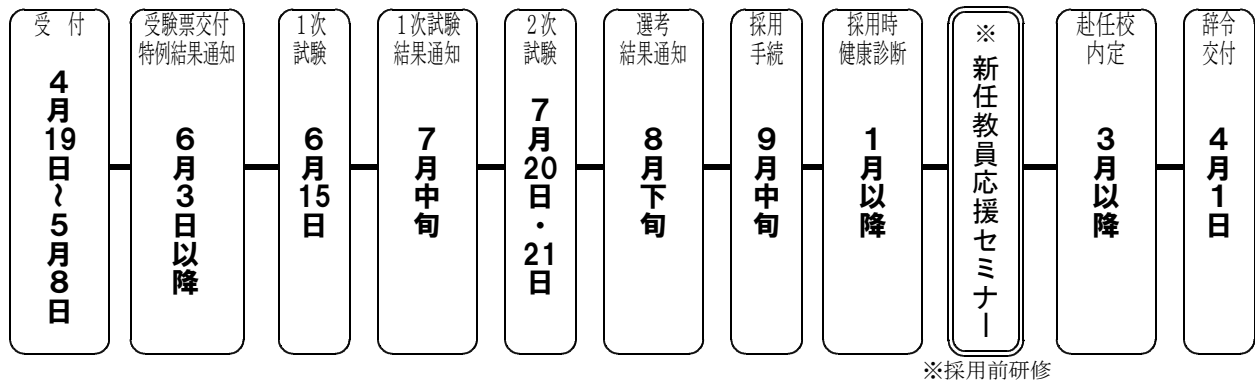
※ 第1希望と第2希望の教科が同一の場合のみ併願できます。教科が異なる場合は併願できません。
 (例) 第1希望〔数学〕と第2希望〔英語〕の併願はできません。

○ 令和5年度実施の結果

区 分	受験者数	合格者数	補欠者数
小学校	637	247	18
中学校・高等学校 国語	77	18	3
中学校 社会	96	15	1
中学校・高等学校 数学	92	11	2
中学校・高等学校 理科	63	26	3
中学校 音楽	38	5	
中学校・高等学校 美術	26	3	1
中学校・高等学校 保健体育	144	19	
中学校 技術	7	5	1
中学校・高等学校 家庭	25	7	
中学校・高等学校 英語	105	27	3
高等学校 地理・歴史	34	5	
高等学校 工業	16	4	
高等学校 商業	5	4	
幼稚園	32	4	
養護教員	133	15	1
特別支援学校	80	46	
栄養教員	36	1	
合 計	1646	462	33

※ 障害者特別選考結果を含む

○ 採用までの流れ



○ 勤務条件（令和6年4月現在）

- 給与（給料月額、地域手当、教職調整額、給料の調整額、義務教育等教員特別手当）

	大学卒の給与	短大卒の給与
高等学校	267,335円	
中学校	267,335円	240,384円
小学校	267,335円	240,384円
幼稚園	263,015円	237,220円
特別支援学校	279,233円	251,088円

※この他に、諸手当として、通勤手当、扶養手当、期末・勤勉手当等があります。

- 勤務時間

小学校・中学校・特別支援学校の勤務時間は、原則として午前8時15分から午後4時45分です。幼稚園・高等学校の勤務時間は、原則として午前8時30分から午後5時00分です。

- 休暇

年次休暇は、年間20日です。
その他、条例に定められた休暇があります。

- 研修の機会

初任者研修会 教科等研修講座 課題別研修講座 教育研究員 等

○ 令和6年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験の選考区分・採用予定人員

選考区分		採用予定人員
① 高等学校教員	国語、地理・歴史、数学、理科、音楽、保健体育、家庭、英語、 商業、工業（機械系・情報系） その他欠員が生じた教科	約35名
② 中学校教員	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	約100名※
③ 小学校教員		約250名※
④ 幼稚園教員		約5名
⑤ 特別支援学校教員		約60名
⑥ 養護教員		約10名
⑦ 栄養教員		若干名

- ※ 小学校・中学校の採用予定人員には、特別支援学級担当教員の採用予定人員約95名を含みます。
- ※ 小学校・中学校合格者の中から特別支援学級担当教員を配置します。
- ※ 小学校合格者の中から小学校英語専科教員を配置します。
- ※ 中学校の合格者は、夜間中学校での勤務となることもあります。

○ 高等学校教員のうち、募集がない教科（美術）において欠員が生じたときは、中学校教員に合格した人で申込時に「高等学校で欠員が生じた教科の希望」を「有」にした人の中から若干名を選考し、面接の上、採用することもあります。

- 採用予定人員には、障害者特別選考試験の採用予定人員約10名を含みます。
- 採用予定人員は、現時点での目安であり、今後検討の結果変わることがあります。
- 採用予定人員には、大学3年生等を対象とした選考試験を含みません。
- 所有免許状（取得見込を含む）に応じ、選考区分①～④の校種のうち、2校種まで併願ができます。（同一時間帯に試験が行われるなど、組み合わせによっては併願できないこともあります。詳しくは、令和6年度実施名古屋市公立学校教員採用選考試験要項のp. 8「6(3) 試験日程・内容」および、p. 24「併願できる組み合わせ」にてご確認ください。）
- 「⑤特別支援学校教員」に合格した人の中から、特別支援学級担当教員に採用されることもあります。
- 本務教諭で、本市への採用希望者は、本採用選考試験を受験してください。（試験の一部免除があります。詳しくは要項のp. 4「4 試験の特例について」の「特例B-2」を参照してください。）
- 日本国籍を有しない人は、任用の期限を付さない常勤講師に任用します。

○ 採用選考試験に関する情報の配信について

※ 採用選考試験に関する情報は、以下のウェブサイトで配信しています。

名古屋市公式ウェブサイト

→ 市政情報 → 職員採用情報・インターンシップ情報

→ 教員等採用情報 → 名古屋市公立学校教員等採用選考試験



※ 令和6年度も、名古屋会場・東京会場・京都会場で説明会を実施する予定です。

◇ 名古屋市の教育の特色や採用試験の概要を紹介します。

◇ 申込手続について説明します。

※ 名古屋市の魅力と教育の特色、名古屋市の学校を紹介した「名古屋の学校～先生と未来に羽ばたくなごやっ子たち～」の動画をご覧ください。



※ 特色ある名古屋の教育「ナゴヤ・スクール・イノベーション」について、詳しく紹介しています。



※ 採用試験の中止・延期や会場変更など緊急連絡事項をお知らせする場合があります。採用試験に関する最新の情報は、名古屋市公式ウェブサイト（「教員等採用情報」のページ）でお知らせしますので、**試験日直前まで必ずご確認のうえ**、受験していただきますようお願いいたします。

※ 過去4年分の「総合教養」「専門」の問題および解答例、「小論文」の問題、「口述」の課題を、名古屋市役所西庁舎1階「市民情報センター（TEL. 052-972-3157）」で閲覧できます。（コピーも可）ただし、郵送の希望には応じられません。

※ 連絡やお問合せは、下記の連絡先まで直接電話または郵送でお願いします。

名古屋市教育委員会 教職員課 教員採用担当

〒460-8508

名古屋市中区三の丸三丁目1-1（名古屋市役所内）

TEL 052-972-3243

※ 名古屋市公立学校教員採用選考試験は愛知県公立学校教員採用選考試験とは別に行っております。